

きた北海道ルート



○道北地域におけるサイクルツーリズムを推進し、国内外から道北地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を目的とし、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイとが連携し、平成29年から活動を実施。

- 宗谷シーニックバイウェイ/天塩川シーニックバイウェイ(両団体が連携し活動)
- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等の検討を実施(関係自治体を含む意見交換会を実施)
 - ・メンバー(観光協会、商工会、交通事業者、旅館組合、NPO団体等)

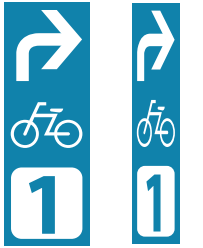
快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置



(矢羽根型路面表示設置箇所の走行状況)



(案内看板シール) (案内用路面表示)

○統一的なルート案内

・道路付属物(道路標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付
・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

・民間施設や関係機関と連携し、休憩施設の箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輸送サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携しサイクリングイベントやモニターツアーの実施を進める。
・フォーマットを統一した持ち運びやすいサイクリングマップを制作し、道の駅や空港等の拠点施設と連携しながら配布する。
・サイクリングマップやルート案内、ルートの起終点や立寄施設を含めた1日の行程がわかる「おすすめルート」などを道の駅や空港等の拠点施設に掲示する。



JR駅における修理工具・空気入れの無料貸出



移動サポート(路線バスによる輸送サービス、運送業者と連携した荷物輸送サービス)



モニターツアーの実施



サイクリングマップの制作・配布

全長約353km

